

新入荷商品のご紹介



笠仙 紅梅小紋 波にちどり 85800円
 波にちどりという夏のモチーフとしては最も人気のある柄です。上質な本物志向の綿紅梅浴衣です。



竹巧彩 籐バッグ 110000円
 やわらかく柔軟性のある藤の素材を丁寧に編み込んだ竹巧彩のバッグです。遊び心あるデザインがグッド。



鎌倉彫 下駄 14960円
 履いてよし、脱いでよし愛らしい素朴なデザインがそそります。



印伝 財布 トンボ 18150円
 鹿革に漆で柄を付けた甲州は山梨県の伝統工芸品です。印伝といえどという原点のようなトンボの柄のお財布で赤地に黒のトンボが映えます。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2023年8月号

ごあいさつ

ここ数日間の暑さは異常ですね。今年の7月はゲリラ豪雨のような降り方をしたかと思うと、雨が降らず連日の猛暑日を記録したりと四季のある日本の温暖な気候ではなく、サバンナ気候のような雨季と乾季のようなメリハリのある気候になってきているのでしょうか。いずれにしろ熱中症にはくれぐれも気を付けて下さい。



9月の連休

9月5日(火) 6日(水)
 9月19日(火) 20日(水)

特集 しけ引き染めの魅力



京都には着物を染めるための技法が京友禅をはじめ多数存在します。そんな技術の名かで見派手さはないものの、一朝一夕では身につかない技法のひとつが、しけ引き染めです。しけ引き染めとは張りのあるしけ刷毛に染料を含ませ生地に美しい線を描く伝統の技法です。同じ刷毛でもハサミなどで切ったりと刷毛で様々な線を表現します。最初に刷毛に染料を付けますが、含ませる量や、一本一本の刷毛の癖、刷毛の角度や引くスピードを天候や湿度に合わせて、毎回職人の勘と経験で替えなければいけません。一定の力加減で線を引くというシンプルながらももっとも難易度の高い技術で、京都広しといえども伝承が困難な幻の技法と呼ばれています。しけ引き染の反物は着物はもちろんですが、コートや羽織との相性のいい柄で、上品で、あまり主張がないため、どんな着物のうえに着ても邪魔をしません。今後技術が失われていく現代で、1枚は手に入れておきたいアイテムのひとつです。

9月の大創業祭では展示いたします。

SNSで情報発信中!

かわちやの新着商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

https://www.gofuku-kawachiya.co.jp

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539